

ワイエムピー・ムンダス

難削材加工の相談窓口を開設

約2週間で無料回答

日本物流新聞
2013年5月25日(土)

ワイエムピー・ムンダス(大阪市中央区)は、今春から切削加工の無料相談を開始した。FAX、

メールの問い合わせに対し、約2週間で回答する。耐熱合金や炭素繊維強化プラスチック(CFRP)などの難削材に関する課題解決を特徴に掲げる。

窓口となる加工技術開発センター長には、今年3月で大阪大学大学院工学研究科を定年退職した藤原順介氏が就任した。長年培ってきた難削材加工の研究成果を活かすほか、大阪府立大学工業高等専門学校(田代徹也准教授)や奈良工業高

等専門学校(和田任弘教授)などの研究者と協力関係を結ぶことで、質問の受け皿を広くした。

同社が想定する加工素材は、▽CFRP▽チタン合金▽高ニッケル合金▽超硬合金▽アルミなどで、複合材料の成型やプレス加工に関する質問にも対応する。「加工条件や設備などの細かい状況が分かれば、ほかの研究者とも相談できるし、解決策も具体的なものをお伝えできる」(藤原氏)として、問い合わせは文書のみで受け付けている。

回答内容は、最適な加工方法から、切削効率の

向上や刃物の延命化につなげる提案。相談はすべて無料だ。場合によって、藤原氏が直接現場へ訪問するケースも考えている。

松浪康二副社長は、周知が当面の課題であるとしたうえで、「学術機関にとってニーズあつての研究だ。シーズが使えらとは限らないこそ、お客様の声が技術開発に活かされる。ちょっとしたことでも気軽に相談していただきたい」とした。今後、ホームページの研究成果掲載や、工作機械ユーザーとのネットワーキングづくりにも着手する予定だ。